



発行所 岩城日日新聞社 福島県小名浜町湊51 電話代表387番

記者 若千名 見習記者 若干名 業務社員 若干名 磐城日日新聞社人事課

都市野球の出場態勢

小名浜野協機構を擴充

既報、泉町合併による小名浜市制の動きは、江名、渡辺等の隣接町村の合流機運と共に、愈々明春までには実現必至の状態となり、逸早くこの情勢を見てとった小名浜野球人らは、市制實施と同年次から都市野球協会の組織を確立しようとする機微な活動、町理事者、並に協会入会に一寸見せたいと、速度と企画のフライングを注目された。

かねて野球諸団体の大同、強化統一の秋なりとして、石井会長ほか各幹部、野球協会(会長石井正氏)では急速に實現への見通しがついた小名浜市制實施を記念、初年次から全都市野球協会の組織を確立しようとする。多額に十六日午後七時、小名浜市を協議させると同時に、また市野球協会の組織を確立しようとする。多額に十六日午後七時、小名浜市を協議させると同時に、また市野球協会の組織を確立しようとする。

野球協会の強化が必要である。小名浜野球協会の組織を確立しようとする。多額に十六日午後七時、小名浜市を協議させると同時に、また市野球協会の組織を確立しようとする。

為政者の命運賭ける小名浜市制

小名浜市の實現は所謂政府の市制施行制限緩和方針によつて曙光を急進的にクローズアップされ、歳末の慌たせにさらされて町長改選などの問題を内蔵しながら、江名、渡辺など各町村要人の往來は傾み、激げしさを加えている。

小名浜町の市制施行は故小野平町長によつて叫ばれ、以来小名浜町政人の合言葉となつて既に十有余年、現在に至つて或いは更に十年余の年月を無爲に過ごさねばならぬか否かと云う破目に迫り込んでいる。

小名浜町の市制施行は故小野平町長によつて叫ばれ、以来小名浜町政人の合言葉となつて既に十有余年、現在に至つて或いは更に十年余の年月を無爲に過ごさねばならぬか否かと云う破目に迫り込んでいる。

勿來も市制促進協議會

新築磐崎小 二月完成

勿來町では十六日午後二時より町役場會議室に協同組合を招き市制施行促進協議會を開催した。この新校舎が完成後は従来の舊校舎(四教室九〇坪)は磐崎洋裁學院(現在中學校内に置く)が移転することになつてゐる。

新築磐崎小 二月完成 旧校舎は移轉 去る七月より着手してゐる磐崎小学校(校長佐藤旬氏)の新築工事は、協同組合の請負で鋭意工事中であるが、予定より少々遅れて明年二月頃竣工を期す。新校舎は、現町役場から南へ約五百メートルに於いて建設が出来ることになつてゐる。

勿來町では十六日午後二時より町役場會議室に協同組合を招き市制施行促進協議會を開催した。この新校舎が完成後は従来の舊校舎(四教室九〇坪)は磐崎洋裁學院(現在中學校内に置く)が移転することになつてゐる。

泉合併に町民かん視

果して乗切るかこの難点

臨路を開ける路は泉町との合併以外にない。と云ふことに容易に結論された(十四の市制準備協議會合同案) 然しながら、鹿島合併に四

とになつた 新築なる磐崎小学校は建坪五八〇坪、総工費一千三百六十六万円の二階建ての鉄筋コンクリートモルタル建築という堂々たるもので一般教室十一、特別教室として理科、音楽、圖書の三教室計十四教室である。この新校舎が完成後は従来の舊校舎(四教室九〇坪)は磐崎洋裁學院(現在中學校内に置く)が移転することになつてゐる。

歴史の排他觀念が根強、また農民は小名浜と合併した場合、工場、道路などのために農地を奪はれることを極度に恐れている。水野町長からバトを受ける次期町長は先づその試金石としてこの難事の解決を迫られてゐる。現町政者が鹿島合併による市制の施行を遂げるに、四年の歳月を空費し乍ら結論として市制施行を空念佛とした点には鋭い批判が寄せられてゐる。折から、今また泉合併による市制に失敗し更に十年の歳月の空費を余儀なくするならば小名浜町の町勢發展は根柢から覆されるとして町民の關心はこの一点に集注されて來た。

歴史の排他觀念が根強、また農民は小名浜と合併した場合、工場、道路などのために農地を奪はれることを極度に恐れている。水野町長からバトを受ける次期町長は先づその試金石としてこの難事の解決を迫られてゐる。現町政者が鹿島合併による市制の施行を遂げるに、四年の歳月を空費し乍ら結論として市制施行を空念佛とした点には鋭い批判が寄せられてゐる。折から、今また泉合併による市制に失敗し更に十年の歳月の空費を余儀なくするならば小名浜町の町勢發展は根柢から覆されるとして町民の關心はこの一点に集注されて來た。

祝 發 刊 滿 三 周 年 記 念 協 賛

- 石城郡小中學校第二支會長
- 水野武
- 湯本町内校長會
- 湯本溫泉旅館組合
- 湯本藝妓莊組合
- 三ッ山物産株式會社 社長 横山 長作
- 品川白煉瓦株式會社
- 石城郡小學校校長會第一支會長
- 竹岡傳
- 白米鑛泉
- 坂本淺次郎
- 植田町 鷺富太郎商店
- 植田町 渡邊重三郎
- 大日本炭礦

勿來農業協同組合 組合長 横山 太一

錦町農業協同組合 組合長 鷺清 幸

銘酒 清福 醸造元 さざ酒造店

難関トンネルは逆巻

国道が明春三月全通

警備国道工事事務所直管のこのトンネルの厚さ(コンクリート)は四〇米で、トンネルの上部(上導孔)より塗り固め、上部が固つたところで下部の低設導孔の幅員を掘削する逆巻法を取つて作業を流して、この難工事も明春までには開通する運びとなつてゐる。

この新設トンネルは勿来町公民館長、同教育長の要職に在る石井定徳氏の長男章氏、二八(警備国道)と平市の高瀬達夫氏の妹保子さん(二二)(警備国道)を卒業後東京洋裁文化学院を修了して家事見習をしてゐた。尚、この間、勿来町公民館の岡部家が公民館結婚を挙行することになった。

公民館結婚 相次ぐ 勿来

生活改善の一環として、勿来町では結婚式の改善を町中学校校長推薦の長瀬先生がトップに公民館結婚を提唱。その第一號を日出度く披露。その後の推名夫婦は町でも評判の田浦な家庭生活を営んでゐるが、十二日公民館結婚のNO2が日出度く華燭の典を挙行した。

修養団浜通り 支部の例会

この日は統計課主事の清野三郎氏が来町午前中、小中学校児童生徒の講習会を開き午後からは一般教職員講習説明会を行った。

統計図表展 示会(勿来)

勿来町では十六日統計課の展示会を勿来第一小学校講堂に於いて開催した。

未亡人会で 賣店(植田)

未亡人のための厚生福祉を圖つて、植田町未亡人会(会長成瀬政子氏)で、かねてより町内に賣店を設けるべく運動を展開して、この日、この公民館の一部を改造して未亡人の酒を呑み、本物の菓子を食べることが「アリズム」だということに、固執された。

教育委員会設置か 十二月定例会で練議

小名浜町教育委員会(委員長菅原勲氏)十二月定例会は十九日午後一時から公民館で開かれ、

ひいらぎ氏に答える ②

「演劇とは何ぞや」と問はれ、私は「演劇とは、現実を私達の生活しているその生活を舞台の上に再現する事である」と云う。一語に盡さる。否です。

劇コンクールについて

審査は山川氏の獨断だけで決定してゐるのではありませぬ。職場や一般の部では、他に三人の審査員があり、高校の部では、更に四人のオプザーバーの先生方が、はつきり

亡人のための賣店を町公民館の諸君と共して教育委員会を設ける案を中心とする。委員の報酬及び旅費、支給などの予算措置が審議される模様である。

また教育委員会設置及び鹿島村合併などに伴う二十八年度追加更生予算も審議される模様で決算は二十一日に開かれる。決定の定例会会上提議されることになる。

君ヶ塚の町営アパート着工

耐火建築による小名浜町営住宅(君ヶ塚)工事は三崎組の手により十七日着工された。

同町営アパートは鉄筋コンクリートと耐火煉瓦による二階建てで明春三月までに完成の予定。

氣違ひ陽氣の だん冬異變

十七日、生暖い南風が吹いて気温がグン／＼昇り正午には最高十六度を突破して町の人々を面喰わした。

この気温は例年の四月末から五月初旬の陽氣で、飛んでもない氣狂い温度は、今朝大陸からの移動性氣圧が三陸後面を襲つたため、南方からの熱つ／＼の若いお客さんが、夢にやつて来たことによる暖冬現象。

小名浜海岸所では夕方から北西の風となり、明日十八日ごろから少しづつ気温も下つて同夕刻にはまた平常の寒さが来る。

この御託宣、浴衣の御用意や、襟裳シャツなど、あわてることありません。

また創作劇の必要性について一應認めておられるあなたが、そのために「既成作家の戯曲価値なき(原文のまま)」と断ずる事は納得できない。と極言されておられるが、山川氏は既成作家の戯曲を否定したことがあつた。と申す他ありません。(つづく)

運管委員会と同様、委員の諸君と共して教育委員会を設ける案を中心とする。委員の報酬及び旅費、支給などの予算措置が審議される模様である。

また教育委員会設置及び鹿島村合併などに伴う二十八年度追加更生予算も審議される模様で決算は二十一日に開かれる。決定の定例会会上提議されることになる。

また創作劇の必要性について一應認めておられるあなたが、そのために「既成作家の戯曲価値なき(原文のまま)」と断ずる事は納得できない。と極言されておられるが、山川氏は既成作家の戯曲を否定したことがあつた。と申す他ありません。(つづく)

16、19日 同時上映

大物二本 出て来た

全篇に躍動する妖艶的な魅力 鶴田浩二のさらけ出す

赤いベレー

小名浜

開業！

簡易な金融 貸付専門 積立金の必要がありません

磐城商會

小名浜町電話三〇六番

開業御知らせ

此の度上横町(マスカタ)に公衆浴場新築十二月十四日より開業致します。た何卒御最負の程を御願ひ致します。

小名浜町上横町(マスカタ) おかめ湯

日記帳御案内

昭和廿九年度~1954

博文館発行各種日記帳

○ 博文館発行各種日記帳

○ 鉄道時報局専門日記帳

○ 土木建築電氣簿

○ 化学農藝簿

○ 婦人友社家計簿

○ 旺文社学生日記

○ 印刷局職員手帳

小泉屋

小名浜町 電話122

寒さの御用意

多服地ネルカセン純毛特価

夜具地と裏地フットの入手

カネボウ毛糸 2000円

松月足袋別特製 160円

豆別珍 55円 大人100円

純毛コットン 1500円より

セーターデガントツクリ

裏毛メリヤスはオリエント

学生服セーラ服學帽カバン

化粧品 柳屋メヌナ

ジュエリー

平マーケット

小名浜第二小学校前電話七

常陽幸運定期

十二月二日より一月十二日まで

銀座支店新設

小名浜町金庫

常陽銀行 小名浜支店

君の名は

石油難が来たとしても

高い木炭時代でも

わたしがあれば御家庭は

何時もニコニコあなたかい

たどえ町長になつたとて

色は黒でも意氣燃えて

家庭を興す火のツ玉

文化木炭

福島縣小名浜町定西

電話七九番

生活改善は 先ず

文化木炭

福島縣小名浜町定西

電話七九番